

最も身近に感じる都市は「ソウル」。発展しそうなのは「上海」

博報堂生活総合研究所

アジアの都市に対する体験・意識調査 速報

博報堂生活総合研究所では、本年1月に「アジア各都市に対する体験・意識」についての生活者の意識調査を実施いたしました。その結果速報がまとまりましたのでご紹介致します。

昨今、中国を筆頭に東アジア情勢はめまぐるしく変化しており、日本人の意識や経験も大きな変革期を迎えているといえます。そこで、博報堂生活総合研究所では、最近の日本人における、中国やアジア諸国の都市に対する訪問経験やイメージについて、最新事情と変化の方向性を探るために、本調査を実施致しました。今回は、国に対する固定観念にとらわれることをさけるために、あえて国単位ではなく、都市単位で、アジアの20都市について行いました。なお、今回はこれらデータのうち、主要な8都市についてご報告しています。

この結果、昨今注目されている中国の都市、「上海」や「北京」などは、まだ訪問経験や親近感低いものの、今後についてはポジティブに評価されており、特に「上海」に対する期待が高いことが明らかになりました。また、「訪問してみたい都市」「移住するとしたら住みやすい都市」では、「シンガポール」がトップでしたが、「身近な都市」では、「ソウル」がトップでした。特に、「ソウル」は、若年層からの親近感が高く、W杯共催などの影響が強いようです。

以下、調査の速報値と分析をご紹介いたしておりますので、ご参考下さい。

CONTENTS

「訪問したことがある」トップは香港。「行ってみたい」トップはシンガポール。
東京に似ているのは「ソウル」。大阪に似ている都市は「香港」
「最も身近に感じる」のはソウル。若年層では、「住みやすそう」でもトップ。
「発展しそう」なのは「上海」「北京」。

< 本件に関するお問い合わせ >

博報堂

広報室

宮川 tel 03-5446-6161

博報堂生活総合研究所

鷺田 tel 03-3233-6450

第4ストラテジックプランニング局

吉川・松浦 tel 03-5446-8565

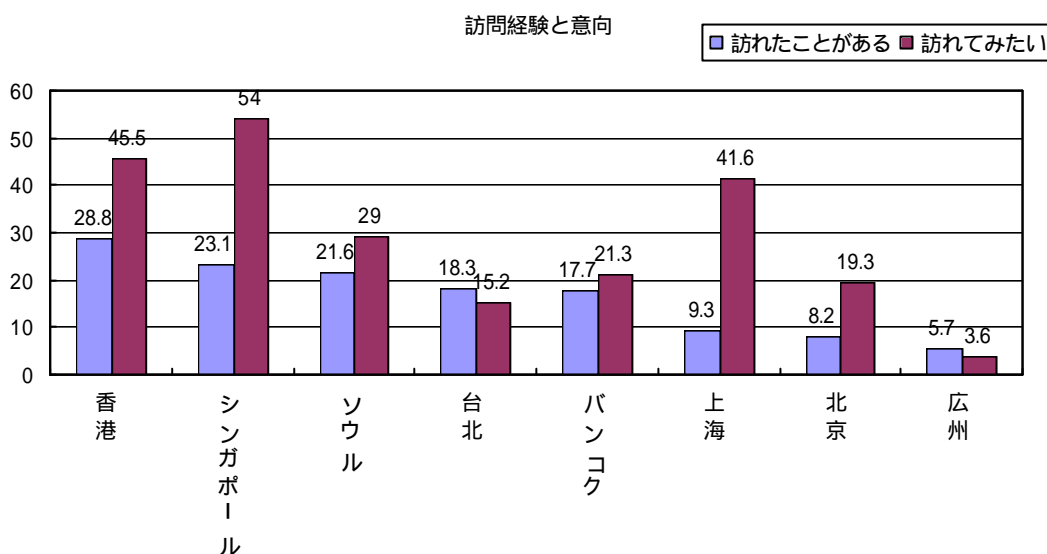
< 調査結果より >

調査対象 : 博報堂生活総研 生活者モニター389名 (18-74歳 男女:首都圏)
 調査方法 : 郵送調査
 調査時期 : 2003年1月

**「訪問したことがある」のトップは「香港」。続いて「シンガポール」「ソウル」の順。
 「行ってみたい」都市のトップは「シンガポール」。つづいて「香港」「上海」の順。**

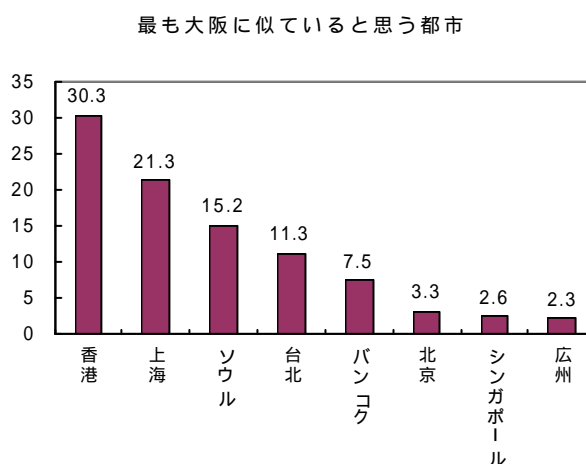
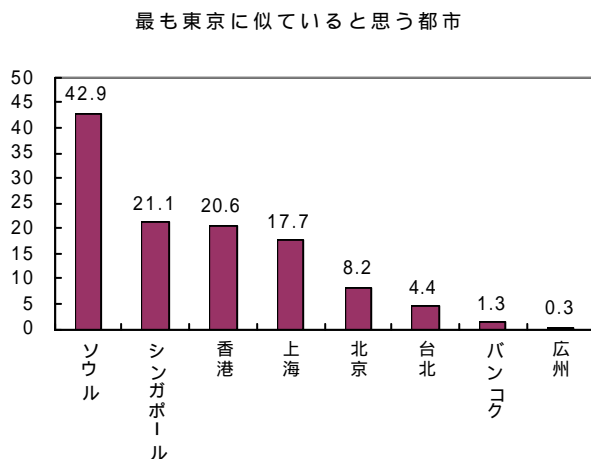
「訪問したことがある」都市は、「香港：28.8%」がトップで、以下「シンガポール：23.1%」「ソウル：21.6%」と2割以上の方が、これら三都市を訪問したことがありました。

また、「行ってみたい」都市は、「シンガポール：54.0%」「香港：45.5%」「上海：41.6%」の順で、シンガポール・香港の訪問先としての人気は、かなり強いようです。また、「上海」は訪問経験が10%に満たないのに、意向が40%以上もあり、今後、訪問者が増えそうです。



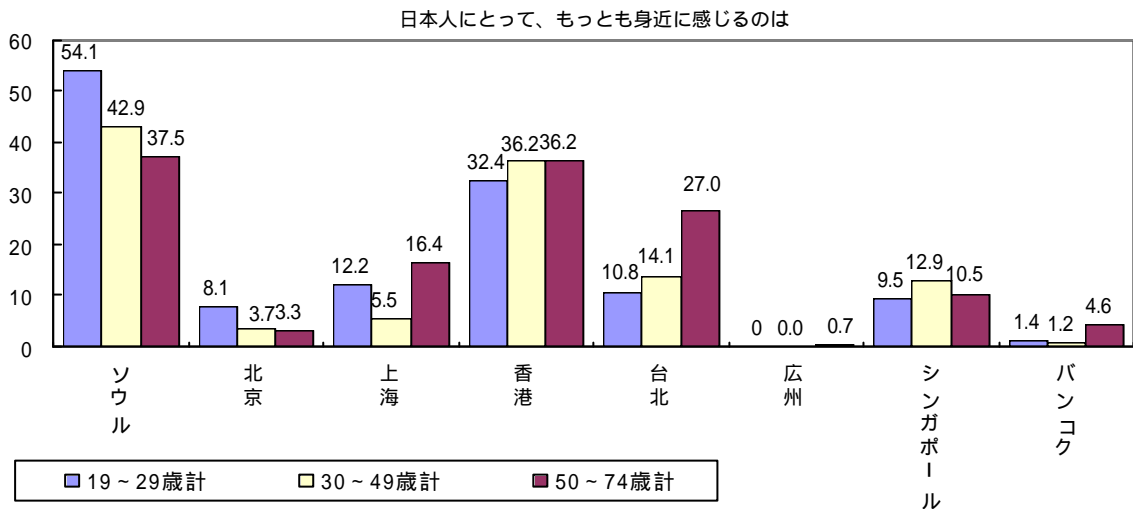
「最も東京に似ている」のは「ソウル」、 「大阪に似ている」のは「香港」。

「東京に似ている」イメージが強いのは圧倒的に「ソウル」で、「シンガポール」が続きます。一方、「大阪に似ている」イメージは「香港」「上海」。都市のキャラクターの違いは認識されているようです。



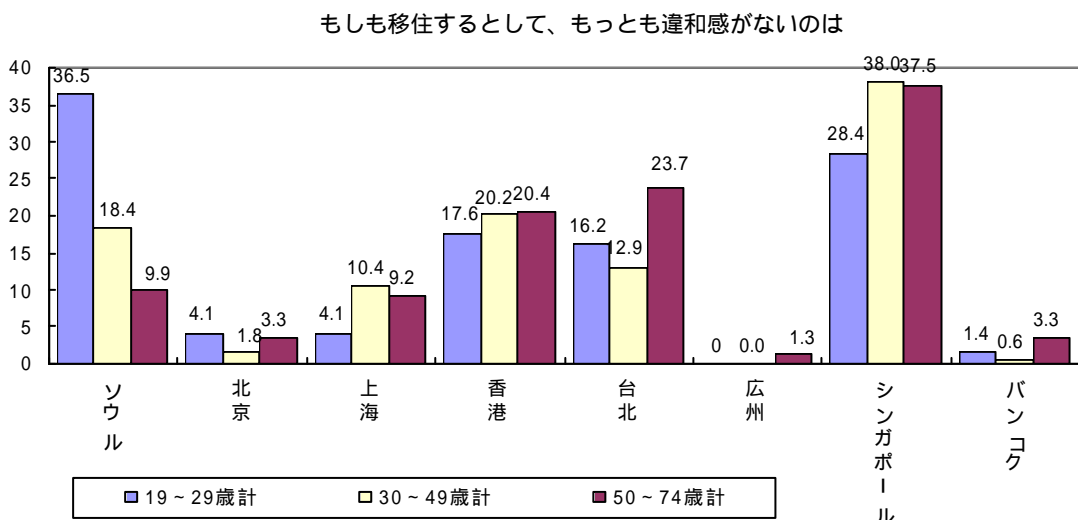
「最も身近に感じる」都市は「ソウル」。特に、若年層からの親近感が高い。

「日本にとって、もっとも身近に感じる」都市は、「ソウル」「香港」「台北」の順となります。とくに、トップの「ソウル」は若年層からの親近感が高く、10代20代の半数以上が、「最も身近な都市」としてあげています。一方で、「台北」は年齢が上がるほど親近感が増しており、年代によつての都市に対する親近感が違うようです。



「移住するとして最も違和感がない」都市は、「シンガポール」がトップ。年代によって違いあり。若者は「ソウル」だが、中高年層は「シンガポール」。

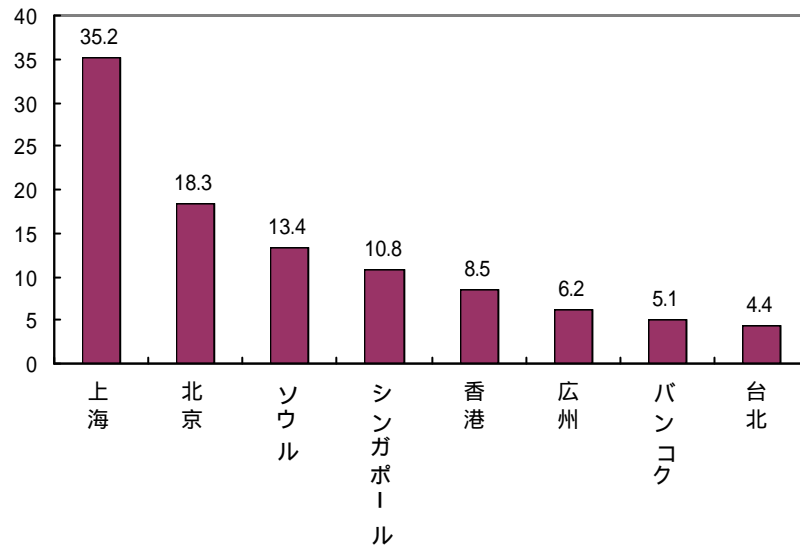
「移住するとして、最も違和感がないのは」と質問したところ、親近感以上に、年齢による差が明らかになりました。全体で見ると、「シンガポール」がトップでしたが、若年層に限ってみると、親近感の高かった「ソウル」が「最も移住しても違和感のない都市」でした。また、30代40代は「シンガポール」の次が「香港」でしたが、50～74才のエルダー層は「シンガポール」の次は「台北」で、ここでも違いが出ました。



今後「最も発展すると思う」のは「上海」「北京」
特に、「上海」への期待は大きいようです。

「今後最も発展すると思う都市」を聞いたところ、35.2%の人が「上海」と答えトップで、これに「北京」が続きました。親近感や住みやすさといった点では、他のアジア都市ほどではないものの、「発展する」という認識では中国の2都市が強いようです。上海は、「行ってみたい」都市でも上位に上がっていましたが、「これから発展するという期待」が、「行ってみたい」につながっているようです。

今後、もっとも発展すると思うのは 合計



若年層が行ってみたいのは「香港ディズニーランド」、**エルダー層が行ってみたいのは、「上海万博」**

今後アジアで開催・開設が予定されているものについて行ってみたいかどうか聞いたところ、若年層からは「香港ディズニーランド」「上海ユニバーサルスタジオ」の人气が高く、エルダー層からは、「上海万博」と「北京オリンピック」の人气が高くなりました。

行ってみたいもの (年代別)

